

第60号



NPO法人ユーアイやちよ

〒276-0034

八千代市八千代台西 8-16-1

TEL.047-482-4109

FAX.047-482-4179

<http://ui-yachiyo.sakura.ne.jp/>

「ユーアイやちよ」20年の重み

先輩、現在の会員、そしてご支援下さる地域の皆様のおかげで、20年という年月が経ちました。

ミッション（使命）？理念？そんな立派な、他人様を説得できるものも持ち合わせず、ただ、単純に自分たちの老後を想像した時に、“安心できるシステムがあり、誰もが住みやすい地域であって欲しい！”というところから平成3年11月有志により「在宅ケアを考える会」を立ち上げ、それではまず

～“地域のニーズを自分たちでできる時に、できる人が、できることをして、支え合っていこう！”と、平成4年4月、福祉に関する様々な研修会と並行して、在宅のお手伝い「ユーアイやちよ」の有償無償の在宅ケア活動がスタートしました。自分達が安心できる老後の姿が目標ですので、この活動では

～いつも自分たちが受け手の立場になった時に、して欲しいことが分かってもらえ、望まれる担い手としての在宅ケアでなければなりません。

～そしてH24年4月、満20年を経た今、団体立ち上げ当初の想いが今も変わらず大切な視点！それが当会の理念でいい！と、実感するようになりました。

～満20年

ハンディのある人も！子供も！高齢者も！誰もが住みやすい街づくり！をめざして制度事業は制度を守りながらも、立ち位置は一住民として、時には、代弁者にもなりましょう。担い手＝受けて＝支え合い活動のユーアイやちよの活動を続けましょう。椎名美代子



20周年記念講演会『地域の新たな支えあい』 ～住民と行政の協働による新しい福祉～開催

ユーアイやちよの創立20周年を記念して、大橋謙策先生をお招きし、八千代市及び八千代市社会福祉協議会の後援を得て、記念講演会を開催します。ぜひ、ご参加ください。

日時：6月9日（土）10時～12時 会場：八千代市福祉センター 参加費無料

◎20周年記念事業として、「20周年記念の集い（10月6日（土））」と「20年記念誌発行」を予定しています。こちらの事業の実行委員を募集中ですので、協力会員のみなさま、ご協力をお願いします！

東日本大震災に関する支援

★福島県いわき市、仮設住宅に出前サロン

H24年1月16日(月)

千葉県社会福祉協議会職員、田中さんのボランティア協力を得て、当会理事、松下やえこさんと、ユーアイやちよボランティア会員7名で、幅広い年齢のご婦人たち20名余りが集まっていた、雇用促進住宅の仮設住宅集会室に、“出前ふれあいサロン”としてお邪魔してきました。2種類の手芸を用意して、皆さんと一緒に作りました。限られた時間の中で仕上げさせていただくことに精いっぱい、“手作り品を後から皆さんで作っていただいて製品化して頂けたら！”とか、“もう少し落ち着いてお話が出来たらよかった！”など、単発の訪問では、思い残すことばかりでした。が、後日、松下さんが旭市の被災者の方々といわきに再訪された時に、私たちと一緒に作った“芋虫”のストラップをとてご自慢そうに見せてくれたご婦人がいたとのこと！ちょっとだけ、喜んでいただけたでしょうか。



ぼくが“芋虫”で～す

～『支えあいのあるあたたかい地域を』 堀田カさん講演会 ～

(八千代市地域支えあい体制づくり事業補助事業公開講演会)

堀田さんは、3.11大震災被災地の、新しい街づくりに、地域包括ケア体制をしっかりと整えることのモデル作り、そしてその中のインフォーマルサービスの創出を勧めていらっしゃるとのことでした。地域の様々なニーズの人たちへの対応が可能となるよう当会(ユーアイやちよ)のような、支え合い活動を地域に広める必要をお話しされました。 H23. 12. 8 勝田台文化センター

(参加者100名…もっと多くの方たちに聴いていただきたかったがPR不足でした)

【参加者アンケートから】

- 支え合いの地域づくりが大切だと思った
- 自分のできることで地域に役立つことをしたい
- 「地域を施設に」に関心を強くした・先生からパワーと勇気をもらった
- 包括ケア…夢物語？実現させたい
- 地味でも活動の喜びを口コミで伝えていくことが必要と感じた



*講演会後の被災地への募金の呼びかけに25,000円のご協力があり、東日本大震災義援金(寄付金)として、堀田さんのさわやか福祉財団へ送金しました。

“生活介護・支援サポーター研修”終了(八千代市地域支えあい体制づくり事業補助事業)

H.23/11～24.2までの基礎講座、専門講座、堀田さん講演会を合わせ約130名の参加があり、講座終了後研修を活かし実践していこうと、受講者の中から有志で支え合いのグループが誕生しました。

外部研修「改正介護保険法及び介護報酬の改正のポイント」

「訪問介護事業所の運営と課題」 3/18 介護労働安定センター主催

2024年には、75歳以上の高齢者が、ピークに達し、ますます訪問介護の必要性が求められている。ユーアイやちよの理念・目標をもう一度皆で確認し、質の高いサービスを提供できる介護事業所にならなければ、生き残れないと思った。

生貝清子

2月研修会「ベッドでの身体介護」講師 保健センター北村理学療法士
～学んだこと～振り返り票から～

- * 利用者（本人）の力を利用して、できることはなるべく本人にしてもらいながら、介護者も一緒に動きながら行う。相手の（動ける）能力をよく分かっていないとできない。
- * 片膝をベッドに乗せて寝ている人を引き寄せる。
ヘルパーの腰の負担が軽くなる。
- * オムツは下から上に引っ張らず、スライドさせながら、上にあげるようにする。
- * 利用者の気持ちに寄り添いながら、安心してもらえるケアが出来るようになりたい。

～図書紹介（事務所にあります）～

かいご（快互）の教本

介護の基本、仕方を分かりやすいイラスト入りで、まとめられています。なぜ快互？ぜひ一読ください。
編集・発行 千葉県介護福祉士会
監修 松下やえ子（城西国際大学准教授・当会理事）

平成24年度 賛助会員となられた方々敬称略

H.M、K.S、K.S、
T.T、M.T（順不同）

いつもご支援を頂き心より御礼申し上げます。

● 微笑みの輪 ～ヘルパーのリレーメッセージ～

岡村 順子さん

(1) ユーアイやちよに入会してどのくらい？

10か月

(2) 好きな言葉は？

自然なほほえみを！

(3) 仕事で心がけていることは？

感謝の気持ちをいつも受け止めて、明るく初心を忘れずに！

(4) 利用者さんとの思い出、心に残っている言葉は？

サービスが終わって、微笑みながら挨拶して下さる時がすごくうれしいです。

(5) 仕事以外で楽しいことは？

朝起きて、少しの時間のガーデニング（庭をきれいにすること）ピアノを弾くこと。

次回は、今西 則子さん に、お願いします。



★行事報告

- H23.12/8 堀田さん講演会「支えあいのあるあたたかい地域を」
 H24.1/16 いわき市仮設住宅出前サロン
 1/19 「語らいパートナーの会」定例勉強会
 1/21 職員新年会
 2/1 松戸市常盤平団地 360 日サロン見学会（サポーター研修）
 2/16.17 全社協 生活支援推進団体人材養成研修会
 2/18 定例会 研修「ベッドでの身体介護」
 NPO フォーラム in やちよ「これからの地域づくりに問われること」
 3/3 ユーアイやちよボランティア交流会
 3/5 スタッフあつまれ「接遇研修」 介護サービス事業者協議会
 3/13 千葉県介護保険指定事業者集団研修 居宅介護支援
 3/15 「語らいパートナーの会」定例勉強会
 3/16 千葉県介護保険指定事業者集団指導 訪問介護
 3/17 定例会 研修「1年をふりかえって」
 3/18 「訪問介護事業所の運営と課題」介護労働安定センター

☆行事予定

- 4/20 八千代市介護事業者協議会総会
 4/21 4月定例会
 5/17 「語らいパートナーの会」定例勉強会
 5/19 24年度総会
 6/9 “ユーアイやちよ” 設立 20 周年記念講演会
 「地域の新たな支えあい」～住民と行政の協働による新しい福祉～
 大橋謙策氏（日本社会事業大学客員教授）
 6/16 6月定例会
 7/19 「語らいパートナーの会」定例勉強会
 7/21 7月定例会



編集後記

私は毎週、障害を持つ人たちと登山やハイキングをしていますが、障害を持つ人たちを「連れて行ってあげる」のではなく、「一緒に行こう」という気持ちでいますし、言葉にも注意しています。「連れて行ってあげる」という気持ちは、やさしさでもありますが、一方で、上下関係で人を見ている面もあります。介護においても、「やってあげる」という気持ちではなく、「させていただく」という気持ちの方が大切ですが、「やってあげている」という気持ちが心の片隅にあると、必ず表に出るので、注意したいと思います。

網干

ユーアイやちよ の あゆみ
 編集人 網干勝 発行人 桃井哲朗、椎名美代子